

News Release

2024年9月30日

Odakyu OX・エフピコ

「エコトレー」「エコ APET」の積極的使用で

「ストア to ストア」の協働を推進中

～2025年3月迄に CO2 排出抑制 年間 350 t を目標～

小田急商事株式会社（代表取締役長:井上 剛一）は、株式会社エフピコ（代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と協働し、「Odakyu OX」28店舗（2024年9月時点）を対象に、店頭で回収された使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせる「トレー to トレー」及び使用済みペットボトルを回収して新たな食品容器に生まれ変わらせる「ボトル to 透明容器」を行い、再び店頭で積極的に「エコトレー」「エコ APET」を使用する「ストア to ストア」、水平リサイクルを促進するための協働を拡大いたします。

Odakyu OX とエフピコは、『お店が街のエコリーダー』となることを目指し、地域の環境負荷軽減、リサイクル資源の有効活用を積極的に行い、持続可能な循環型社会の推進に貢献してまいります。

Odakyu OX



エフピコ



ピコザウルス



<本取り組みについて>

Odakyu OX では使用済みトレーやペットボトルを店頭で設置している回収ボックスにて回収を実施しております。回収した使用済み食品トレー・ペットボトルはすべてエフピコの資源として活用され、これらの回収資源からエコ製品「エコトレー」「エコ APET」に生まれ変わり、再び Odakyu OX の売り場で使用することで循環型の水平リサイクルを実現してまいります。

2023年度は、Odakyu OX でエコ製品「エコトレー」「エコ APET」をお肉やお魚、お惣菜やサラダ容器などに幅広く使用し、322t の CO2 排出量を抑制できました。

2024年度は Odakyu OX の店舗・店頭での環境取り組みの訴求等によりお客様の理解を深め、回収トレーを増やすことで、『使用済み食品トレー回収量 27.0 t』の資源回収を目指し、「エコトレー」「エコ APET」の積極的な使用により CO2 排出抑制 『年間 350 t』を目指します。

【ご参考】

＜株式会社エフピコ＞

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレー to トレー」「ボトル to 透明容器」による地上資源の循環及び CO2 排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地：〒163-6036 東京都新宿区西新宿 6 丁目 8 番 1 号新宿オークタワー 36 階

代表者：代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設 立：1962 年 7 月

H P : <https://www.fpc.jp/>

以上